※　この施設整備計画は、中期計画に従って平成 22 年 6 月に理事会で決定し、平成 21 年度実績報告と同様に 3 カ月以内に、宮城県に提出したものです。
但し、整備費用・整備スケジュールは、省略しています。

公立大学法人宮城大学施設整備計画

平成 22 年 6 月 28 日 公立大学法人宮城大学

1　趣旨

宮城大学中期目標においては、全学的に施設設備の有効活用を図った上で、中期的な視点に立った計画的な施設整備を行うとともに、良好な教育研究環境を保持するため、施設等の適切かつ効果的な維持管理を行うとされている。更に、中期計画おいては、施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置として、施設の整備に当たっては、中・長期的な計画を策定するとされている。

本施設整備計画は、これらの趣旨に基づき、中期計画中における本学の施設整備に当たり、その整備方針を明確にするものである。

2　施設整備の現状と課題

宮城大学は平成 9 年 4 月の開学で大和キャンパスは開学後､13 年間使用してきているが、その間施設整備を行えなかったため、施設面で狭隘化と老朽化が進み、その対応の遅れから充実した高度な教育研究や大学業務に支障が出ている状況である。

このことは、理事長室の施設整備計画策定部会による学内アンケート調査、学生満足度調査で厳しい回答を得ている。

また、太白キャンパスにおいては、平成 17 年 4 月に宮城農業短期大学（昭和 27 年開学）が 4 年制化に移行し、宮城大学の食産業学部として発足しているが、4 年制化移行時に整備の対象とならなかった施設の整備が緊急の課題となっている。

(1) 大和キャンパス

大和キャンパスは、平成 9 年 4 月の開学以来 13 年間使用してきているが、施設面で大きく四つの点で深刻な問題が出ている。

①　講義室、演習室、ラボなど、教育に必須の施設やスペースの不足

・看護学部では、60 人から 100 人の中教室 1 室と演習室が 2 室が確実に不足している。

・事業構想学部では、デザイン情報学科の授業及び学生が常時制作に使えるラボが決定的に不足している。制作中の作品を保管して一定期間にわたって継続的に制作に取り組むことができない。現状では、課題制作のために、長期間にわたって演習室を占拠することになり、事業計画学科の授業での使用に支障をきたしている。

・大和キャンパスでは、100 人以上の講義室の稼働率はおよそ 60%前後（多目的室を除くと 65.0%）であり、ほぼ「飽和状態」であるといえる（学校計画の経験値として、稼働率 60%を超えると時間割の編成が困難になるとされる)。事業構想学部の講義に使われる中教室に関しても、平均稼働率が 53.3%で 60%を下回っているが、今後、事業計画学科とデザイン情報学科の分野の融合（たとえば、情報技術と企業経営の融合など）し、両学科の学生が受講

可能な科目を新設するような場合、100 人規模の講義室が必要となることが考えられるため、2 室程度の増加が望まれる。

・共通教育の必修英語（国際コミュニケーション能力養成）は時間割上学部ごとに同時に使う必要があるが、少人数教室が 5 室不足している。新カリキュラムの年次進行で少人数教室の不足が深刻化している。

② 大学が狭隘であるため、学生の居場所の確保

学生の自習場所が決定的に不足している。グループ学習の場所も少ない。学生のラウンジも少なく、学生がくつろいだり、会話する場所も不足している。

食堂、売店は狭く席数が不足しており、構造的な問題で暖房効果が乏しく冬は寒い。

図書館においても自習席が不足している。

③ 研究スペースの不足や研究室の作りの問題

研究室は助教まで 1 室を確保されておらず、講師以上でも小教室を転用している場合がある。また、仕切りが完全でないため教員からの苦情が長年続いているため対応する必要がある。最近は、外部研究資金の獲得を奨励し獲得額は増加しているが、この種の外部資金や産業化プロジェクトによる大型研究（専用の研究機器を入れ研究者を有期任用することもある）を行う共用・期間貸与用の研究スペースが必要である。

④ 経年劣化等に伴う施設・設備の改修・更新

大教室のプロジェクター等の教育・研究機器の老朽旧式化による更新、本部棟の構造的な問題もあり長年指摘されている夏場の高温・冬場の低温対策、衛生面からトイレの全洋式ウォッシュレット化、自動手洗いへの改修も必要である。

また、安全管理の面からキャンパス入退室監視システムの更新、本部棟入口付近に防犯カメラの増設、グランドにネット・フェンスの設置、玄関ロータリーの石畳みの損傷等、危険な状態であり補修等が必要である。

(2) 太白キャンパス

太白キャンパスは、平成 17 年 4 月に宮城農業短期大学から 4 年制化に移行、宮城大学食産業学部として発足時、キャンパス内の教育研究施設は一応整備されたが、附属坪沼農場は整備の対象外となっていた。

① 食産業学部附属坪沼農場

・坪沼農場内施設は昭和 54 年から 56 年にかけて順次建設されたものであるため老朽化が進み、随所に修繕必要箇所が認められる。また、建設当時と比較して 1 授業当たりの対象学生数や男女の構成比が大きく変化しており、現状では利用に大きな支障をきたしている。

・坪沼農場は生産から加工・流通、消費に至るまでの教育研究には、必須の施設である。特にファームビジネス学科では圃場を利用した作物栽培試験、畜舎を利用した家畜飼育試験を実施している。作物栽培試験では、早朝や夕方遅くまでの調査、家畜飼育試験では朝夕の体重測定や出産時の立会などで一晩中畜舎を見回ることが求められる場合があるが、管理棟の宿泊設備が老朽化しているため、宿泊できずこれらへの対応が不可能であった。宿泊用の設備が整備されれば、食産業学部の教育研究において著しい効果が得られる。

・管理棟の講義室は建設時の対象学生は 40 人であったが、現在の実習の対象学生数は最大時が 60 人であり、農業ガイダンスで担当教員が同席する場合

は、70 人の収容能力が必要となる。

・女子学生の比率を見た場合、昭和 27 年の開学時は男子学生だけであったが、昭和 60 年までは 20 %前後、4 年制化移行時は 58 %、法人化時には 60 %と女子学生が男子学生を上回っており、男女別トイレの整備など女子学生の増加に応じた対応が求められる。

3　施設整備の基本方針

大学全体の施設整備の方針を明確にし、より良い施設整備、管理運営を行い得るようなシステムの導入、施設の効率的・弾力的利用を推進するシステムの構築を行うとともに、緊急に整備が必要な大学施設について重点的・計画的に整備を進めることとする。

なお、本計画おいて通常の維持修繕費予算の範囲内で対応する小規模修繕は、取り入れないこととし、新棟建設と大型改修を中心にまとめるものである。

4　整備内容及びスケジュール

緊急に整備すべき対象を明確化し、重点的・計画的に整備を図る観点から、次の（1）から（5）の施設・設備を整備の対象とする。

(1) 大和キャンパス　新棟建設

大和キャンパスの池北側の平地に池に南向きに面する 3 階建ての新棟を建設する。

①　建築概要（別紙平面図）

・建築面積 619.5 ㎡、延べ床面積 1,848.3 ㎡（2F 614.4 ㎡、3F 614.4 ㎡）

・各階の用途

一階　プレゼンテーションルーム(110 席)､演習室 1 (20 席)､演習室 2 (20 席)、講師控室(教材準備・保管庫)、ラウンジ(32 席)

二階　共用研究スペース、デザイン実習室(66 席)、ラウンジ(32 席)

三階　環境実験室(66 席)、製図室(66 席)、作品・材料保管庫、ラウンジ(32 席)

・一階部分は主に看護学部が、二階・三階部分は主に事業構想学部が利用するものとする。また、二階の共用スペース部分は、両学部が共同利用するものとする。

②　着工時期

基本設計・実施設計　平成 23 年度、施工　平成 24 年度

(2) 大和キャンパス　本部棟の改修

新棟の建設に伴い本部棟を改修するもの。

①　改修概要（別紙平面図）

（2 階　（4）の図書館の改修へ記載）

3 階　研究室壁補強

4 階　現デザイン実習室、製図室、環境実験室の中教室、小教室への改修、研究室壁補強

②　着工時期

設計・施工　平成 25 年度

(3) 食産業学部附属坪沼農場の管理棟改修・整備

管理棟は昭和 56 年 3 月の建築で、老朽化が著しいため耐震診断を実施した上

で、改修・整備を実施することとするが、耐震診断の結果により補強工事の必要も想定されるが、この計画では耐震設計・補強工事費は考慮していない。

既存建物　構造 RC・2 階建
建築面積 332 ㎡、延べ床面積 465 ㎡（1F 332 ㎡、2F 133 ㎡）

① 改修概要（別紙平面図）

１階　講義室の拡張（講義室を厨房まで拡張して 40 席から 70 席へ）、厨房を講義室東側へ増築、講義室等へ空調設備の設置、女子トイレの拡張、浴室を男女別シャワー室へ改修等、
増築面積 25.92 ㎡

２階　合宿室の間仕切り等を撤去し大部屋 2 室（33 畳、28 畳）を確保
非常階段の設置等

屋根　1 階部分全面張替え、2 階部分シート防水施工

② 着工時期

設計　平成 22 年度、施工　平成 23 年度

(4) 大和キャンパス　図書館の改修

学生の自習席不足を補うため改修するもの。

① 変更概要（別紙平面図）

閲覧室・自由席 100 席増設、談話室設置（AV 室の半分）、閉架書庫への可動式書架の導入

② 着工時期

平成 26 年度

(5) 経年劣化等に伴う設備等の改修・更新

経年劣化等に伴う次の①から⑤の設備等の改修等を順次行うこととする。

① 大和キャンパス　空調監視システム更新
・着工時期
平成 23 年度

② 大和キャンパス　空調室外機エンジン部更新
・着工時期
平成 24 年度

③ 大和キャンパス　電話交換機設備更新
・着工時期
平成 25 年度

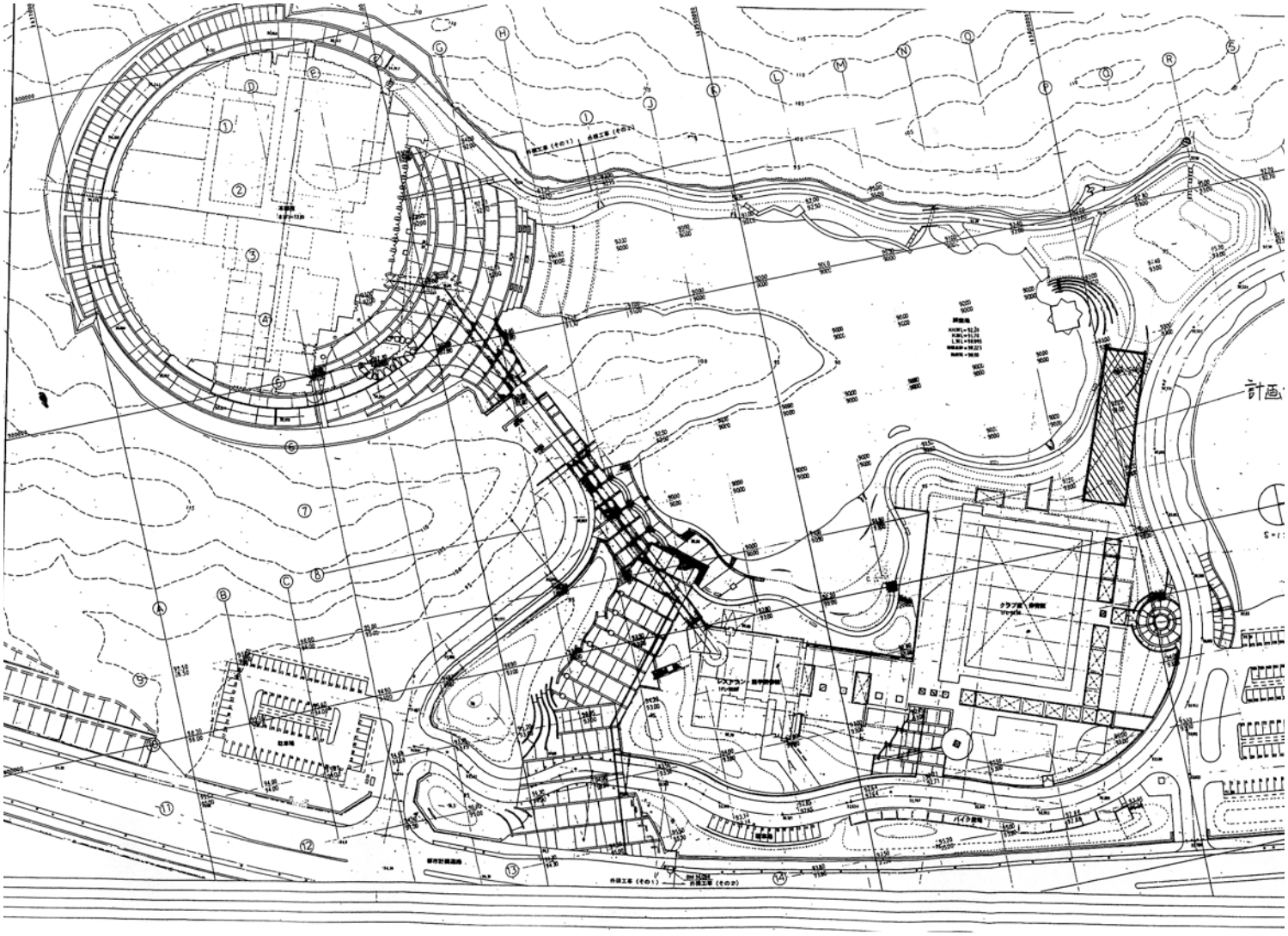
④ 太白キャンパス　屋内運動場（床面積 1,434.52 ㎡）改修
・着工時期
平成 26 年度

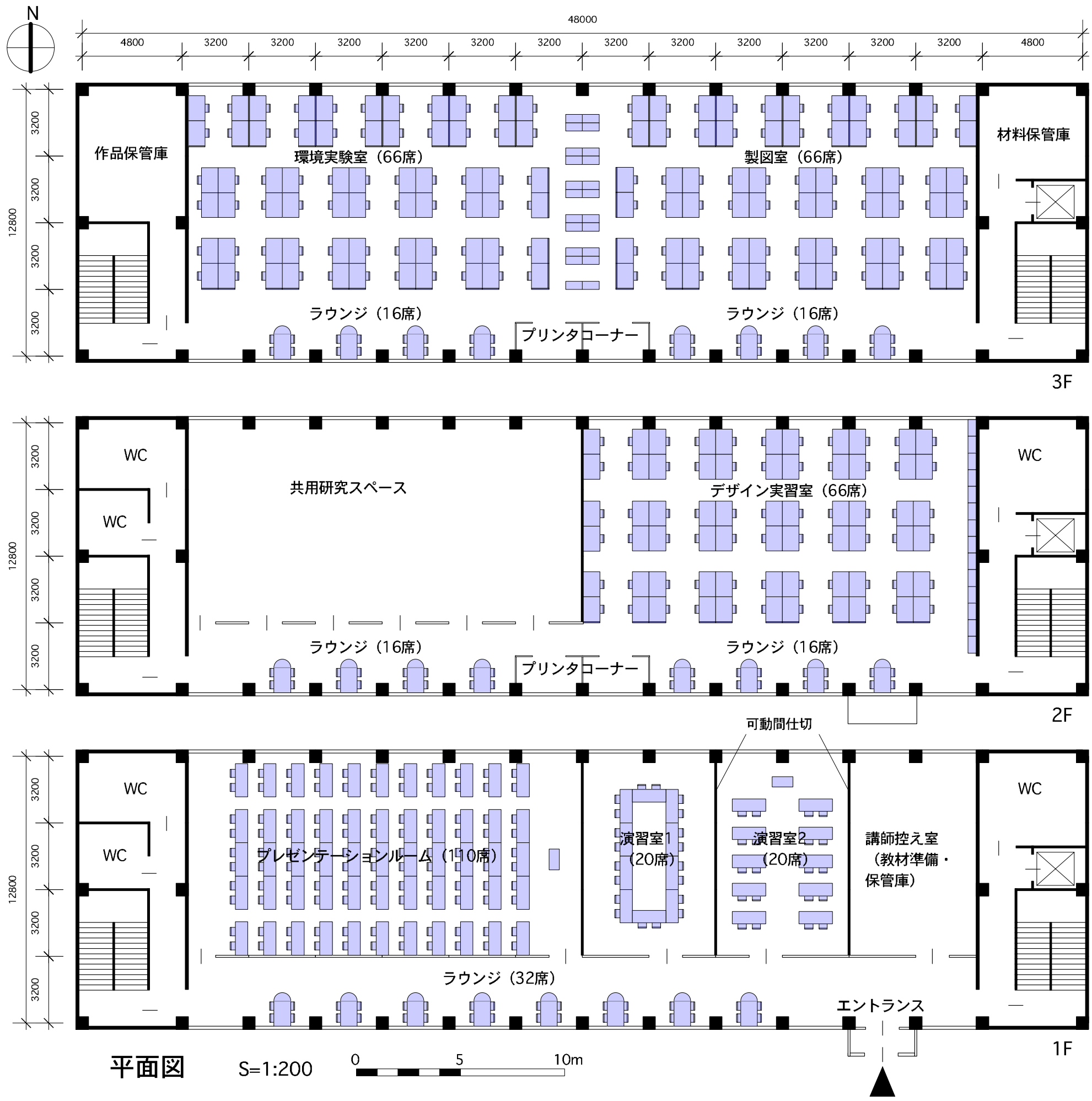
⑤ 大和キャンパス　入退室監視システム更新
・着工時期
平成 26 年度

５　施設・設備の管理

施設・設備の管理に当たっては、定期的なメンテナンスによる適切な維持管理を行い、施設・設備のライフサイクルコストの軽減を図る必要がある。そのため、施設・設備の状況を定期的に調査し、修繕が必要な箇所の早期把握とその維持管理・修繕を検討する内部組織、システムを構築する。

更に、定期的に施設の利用状況を調査し、スペースの再配分を考慮した施設の有効利用等を図る。





平面図

S=1:200

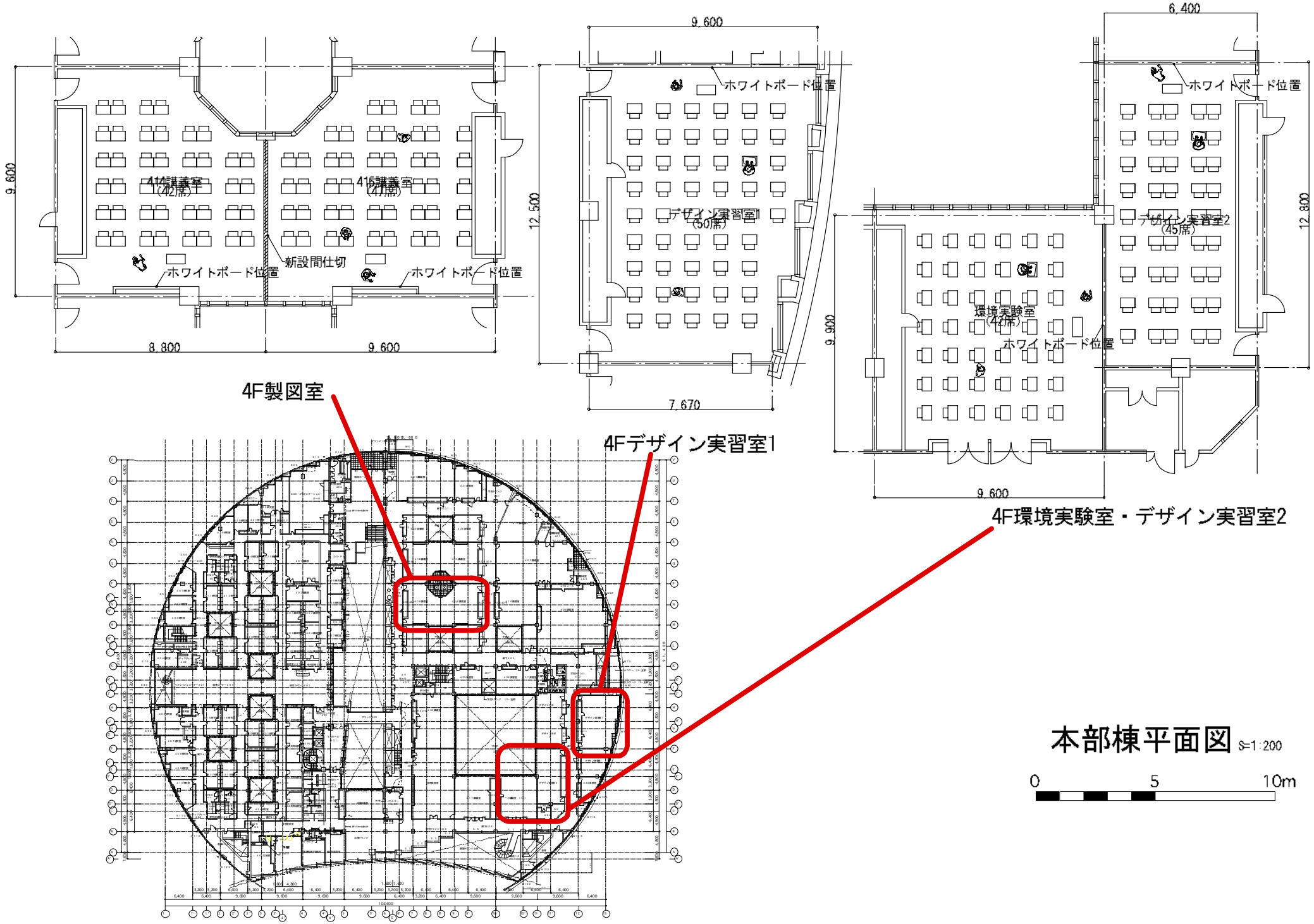
面積比較表

現状			新棟（案）		
製図室	184.3		製図室	184.3	
デザイン実習室1	118.4		デザイン実習室	184.3	
デザイン実習室2	81.9				
環境実験室	76.8	461.4	環境実験室	184.3	553.0
			講師控え室（教材準備・保管庫）	61.4	
			プレゼンテーションルーム	184.3	
			演習室1	61.4	
			演習室2	61.4	
			共用研究スペース	184.3	
			ラウンジ1F（エントランスホール含む）	122.9	
			ラウンジ2F（プリンタコーナー含む）	122.9	
			ラウンジ3F（プリンタコーナー含む）	122.9	
			作品保管庫	38.4	
			材料保管庫	19.2	979.2
			WC・階段・ELVなど	316.2	316.2
延床面積					1848.3

デザイン系学生数の設定

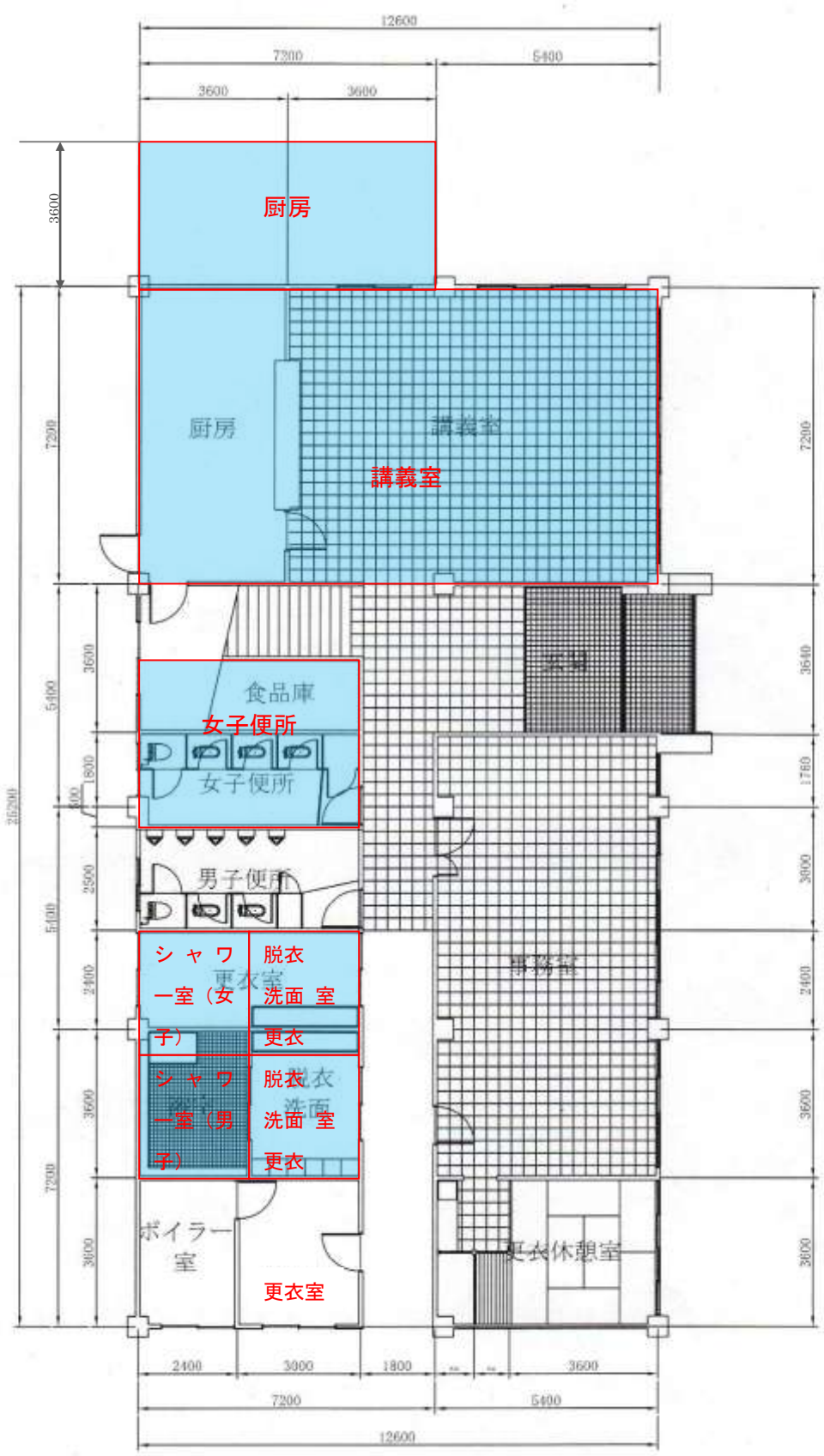
コース		人数	合計	
情報システム		20		情報システム演習室、CAD
デザイン情報	情報系	20	40	デザイン・ラボ、演習室など
	デザイン系	20		新棟
空間デザイン		40	60	

新棟計画

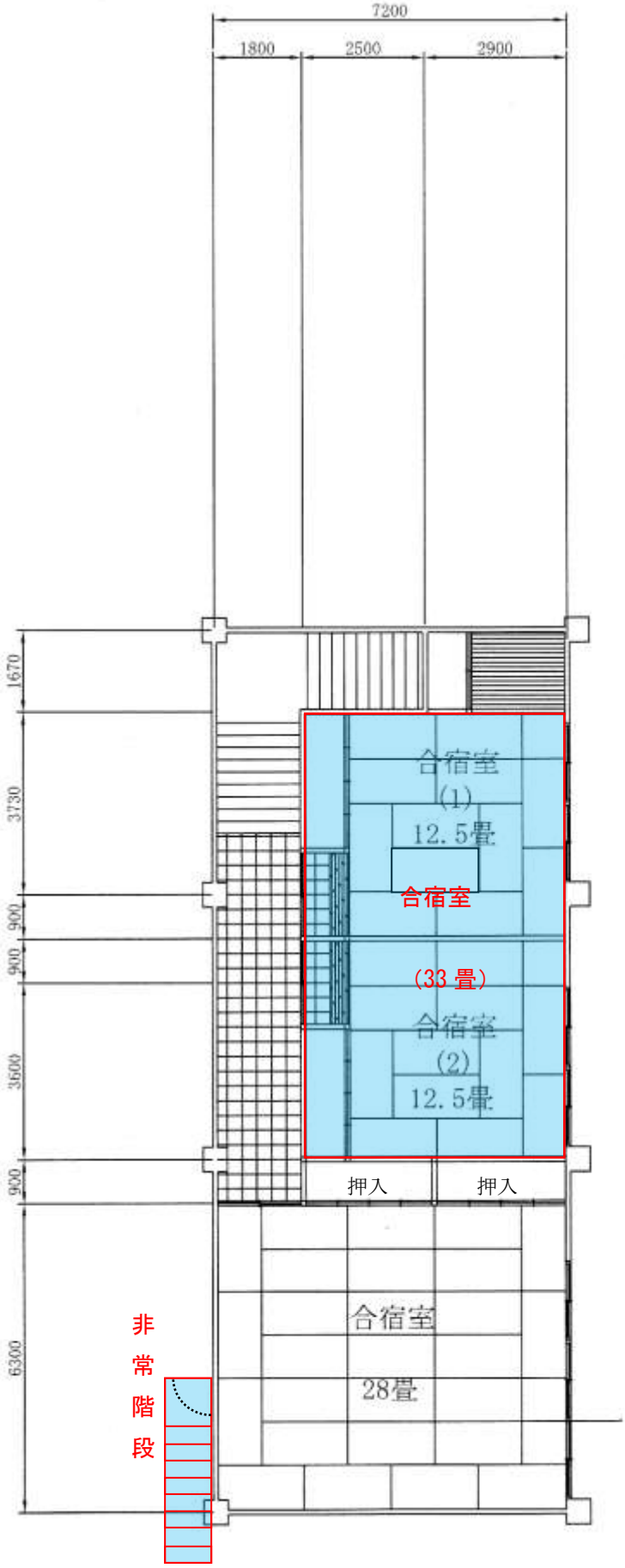

414講義室
(42席)
415講義室
(47席)
新設間仕切
ホワイトボード位置
ホワイトボード位置
9,600
8,800
9,600
9,600
12,500
7,670
ホワイトボード位置
デザイン実習室1
(50席)
6,400
12,800
9,900
9,600
ホワイトボード位置
デザイン実習室2
(45席)
環境実験室
(42席)
ホワイトボード位置
4F製図室
4Fデザイン実習室1
4F環境実験室・デザイン実習室2
本部棟平面図 S=1:200
0
5
10m

Ⅴ．添付資料

① 坪沼農場管理棟１階平面図【改修案】



① 坪沼農場管理棟２階平面図【改修案】



閲覧スペース
等間隔に整列
36席（-4）

開架図書
書架と書架の間を
1000mmとして整列

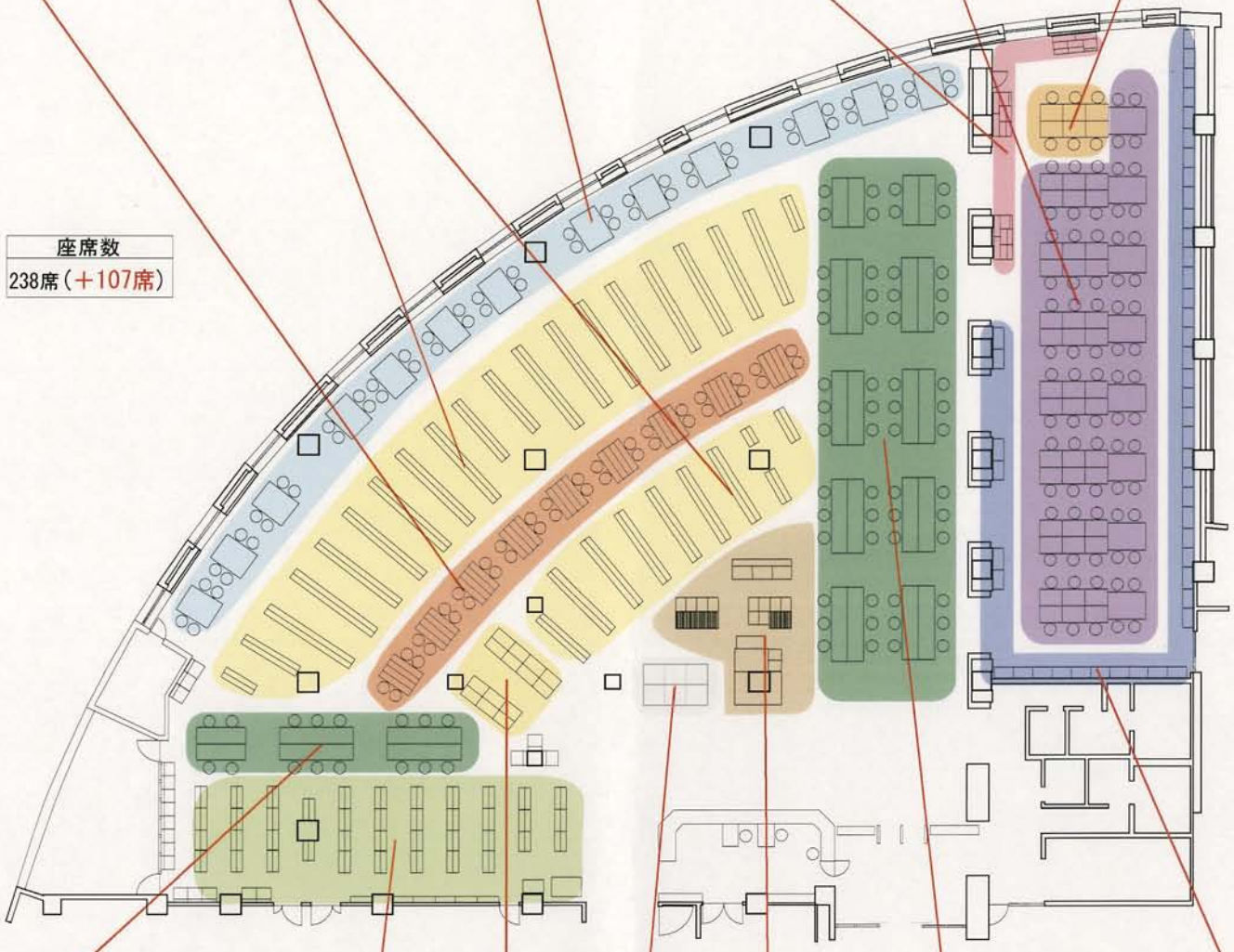
閲覧スペース
（テーブル大）
52席（±0）

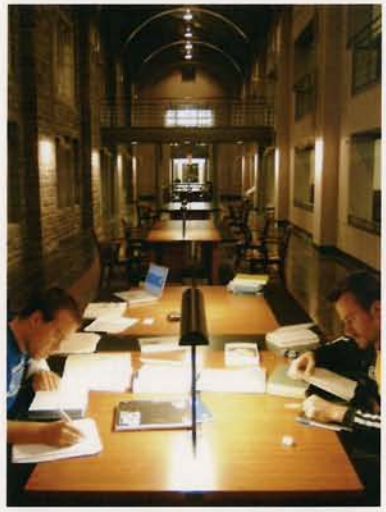
ＡＶ資料

自習室＆閲覧
74席（＋35）

ＡＶ閲覧
スペース
現在利用者が少ないので
6席に縮小

座席数
238席（＋107席）





新規自習＆閲覧スペース
ブックライト、パーティション有り
16席（＋16）

リファレンス

大型本

検索端末

新聞

新規自習＆閲覧スペース
ブックライト、パーティション有り
60席（＋60）

雑誌

MYU Library Project　変更後

施設整備関係中期目標等抜粋

平成 22 年 7 月 5 日

１　中期目標	２　中期計画	３　平成 22 年度計画
第７　その他業務運営に関する重要項目 １　施設設備の整備・活用等に関する目標 全学的に施設設備の有効活用を図った上で、中長期的な視野に立った計画的な施設整備を行うとともに、良好な教育研究環境を保持するため、施設等の適切かつ効率的な維持管理を行う。	１　施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置 (1) 土地建物などの活用状況の点検・評価を行い、有効利用を図る。 (2) 施設の整備に当たっては、中・長期的な計画を策定する。 (3) 設備の更新に当たっては省エネルギー等へ配慮するとともに、キャンパスレンジャー等学生参加型による、環境と共生し調和するエコキャンパスづくりを推進する。 (4) 施設設備の維持管理については、管理規程を整備し、適切かつ効率的に行う。	１　施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置 ・建物の有効活用を目指し、利用状況を点検する。 ・「宮城大学施設整備計画」を策定し、６月までに県に提出し協議する。 ・教職員、学生等で構成する「エコキャンパス推進会議」を中心に、大学環境の維持・保全・美化、省資源・省エネルギー等について検討する。 ・施設の維持修繕にあたっては、アンケート結果の「小規模改修項目」について、優先順位をつけて実施する。なお、平成 21 年度に「施設等管理使用規程」を制定済。

学生満足度調査（平成21年度卒業生、修了生対象）対応策

平成22年3月19日調査

※1　数字は、やや不満＋不満の数字（上段は人数、下段は百分率）
※2　　は30%を超えるもの

大項目		小項目	看護学部	事業計画学科	デザイン情報学科	事業構想学部計	ファームビジネス学科	フードビジネス学科	環境システム学科	食産業学部計	大学院	合計	対応責任者	対応内容
宮城大学に学んでの満足度	(1)大学全体	①大学に対する満足度	5 4.8%	16 16.5%	19 20.0%	35 18.2%	9 23.7%	2 4.2%	3 9.1%	14 11.8%	6 20.7%	60 13.5%		
	(2)各学部・大学院	②所属学部(院)での各自の学習到達度	9 8.7%	19 19.6%	38 40.0%	57 29.7%	6 15.8%	6 12.5%	5 15.2%	17 14.3%	3 10.3%	86 19.4%	事業構想学部長	・シラバス等を通じて学生に到達目標を明確に認識させるとともに，演習内容の充実を図る等，目標に対する到達度を高めるように努める．
		③所属した学部(院)に対する満足度	4 3.8%	14 14.4%	34 35.8%	48 25.0%	6 15.8%	1 2.1%	5 15.2%	12 10.1%	6 20.7%	70 15.8%		・H21カリキュラム改正により教育内容の見直しを行うとともに，旧カリ学生についてもゼミ配属の早期化，演習内容の充実を行い，満足度向上に努める．
	(3)各学科（看護学部を除く）	④所属学科での各自の学習達成度		24 24.7%	39 41.1%	63 32.8%	6 15.8%	6 12.5%	5 15.2%	17 14.3%		80 25.7%	事業構想学部長	・シラバス等を通じて学生に到達目標を明確に認識させるとともに，演習内容の充実を行い，目標に対する到達度を高めるように努める．
		⑤所属した学科に対する満足度		15 15.5%	27 28.4%	42 21.9%	5 13.2%	2 4.2%	5 15.2%	12 10.1%		54 17.4%		
授業環境	(1)科目構成（カリキュラム）	①語学	29 27.9%	41 42.3%	46 48.4%	87 45.3%	15 39.5%	18 37.5%	12 36.4%	45 37.8%	5 17.2%	166 37.4%	共通教育運営委員会委員長	・今回の結果は旧カリ学生の回答であり、今後の新カリ学生の状況を見て速やかに対応する。
		②共通教科目	16 15.4%	18 18.6%	27 28.4%	45 23.4%	6 15.8%	2 4.2%	5 15.2%	13 10.9%	2 6.9%	76 17.1%		
		③専門科目	7 6.7%	14 14.4%	25 26.3%	39 20.3%	5 13.2%	2 4.2%	3 9.1%	10 8.4%	5 17.2%	61 13.7%		
		④他学部・他学科提供科目	13 12.5%	19 19.6%	20 21.1%	39 20.3%	3 7.9%	5 10.4%	5 15.2%	13 10.9%	3 10.3%	68 15.3%		
	(2)教員の指導（個々の科目は授業評価による）	⑤語学全般	23 22.1%	20 20.6%	31 32.6%	51 26.6%	7 18.4%	6 12.5%	5 15.2%	18 15.1%	3 10.3%	95 21.4%	共通教育運営委員会委員長	・H21カリ改正により見直しが図られている．旧カリ学生については，早期に英語単位の修得をするよう専任の英語教員を含めた指導体制の充実を図る．
		⑥共通教科目全般	16 15.4%	16 16.5%	23 24.2%	39 20.3%	3 7.9%	4 8.3%	4 12.1%	11 9.2%	2 6.9%	68 15.3%		
		⑦専門科目全般	9 8.7%	9 9.3%	24 25.3%	33 17.2%	2 5.3%	2 4.2%	3 9.1%	7 5.9%	6 20.7%	55 12.4%		
		⑧他学部・他学科提供科目	11 10.6%	13 13.4%	23 24.2%	36 18.8%	2 5.3%	3 6.3%	4 12.1%	9 7.6%	2 6.9%	58 13.1%		
事務部	(1)事務部対応	①待ち時間	16 15.4%	31 32.0%	34 35.8%	65 33.9%	6 15.8%	8 16.7%	7 21.2%	21 17.6%	6 20.7%	108 24.3%	事務部長	・事務部内での接遇等研修を定期的に実施し、対応力の向上に努める。また、あいさつ、呼称等を統一する。 ・8月10日～11日に新任職員を対象とした研修を実施するとともに、事務部職員全員を対象に接遇等を中心としたSD研修を9月中旬に実施予定である。 ・窓口対応職員（臨時）の通年雇用の継続により、業務に習熟した窓口体制を構築していくとともに、各担当職員も積極的に窓口対応を行い、窓口業務の向上に努めていく。
		②職員の応対	39 37.5%	59 60.8%	56 58.9%	115 59.9%	16 42.1%	14 29.2%	7 21.2%	37 31.1%	10 34.5%	201 45.3%		
保健室・学生相談室	(1)保健室	①利用しやすさ	16 15.4%	4 4.1%	11 11.6%	15 7.8%	4 10.5%	2 4.2%	2 6.1%	8 6.7%	0 0.0%	39 8.8%		
	(2)学生相談室	②利用しやすさ	10 9.6%	3 3.1%	10 10.5%	13 6.8%	4 10.5%	3 6.3%	2 6.1%	9 7.6%	1 3.4%	33 7.4%		
キャリア開発	(1)就職支援	①相談しやすさ	7 6.7%	15 15.5%	18 18.9%	33 17.2%	7 18.4%	6 12.5%	11 33.3%	24 20.2%	3 10.3%	67 15.1%	食産業学部長	・相談対応教員を3名から5名に増加させるとともに、これら委員と卒論指導教員との連携により、個別学生の状況把握及び求人情報提供の徹底を図った。特に悩みのある学生に対する相談には、キャリア部会担当者2名で常時対応可能な体制に。今後就職先候補を環境以外の業種にも間口を広げて選定・指導予定。
		②就職等に関する行事等の告知方法	10 9.6%	27 27.8%	25 26.3%	52 27.1%	8 21.1%	10 20.8%	15 45.5%	33 27.7%	4 13.8%	99 22.3%		
	(2)キャリア開発教育	③マナー・面接トレーニング	4 3.8%	16 16.5%	16 16.8%	32 16.7%	6 15.8%	10 20.8%	7 21.2%	23 19.3%	2 6.9%	61 13.7%		
		④就活ｾﾐﾅｰ・準備ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ	3 2.9%	19 19.6%	21 22.1%	40 20.8%	6 15.8%	10 20.8%	8 24.2%	24 20.2%	2 6.9%	69 15.5%		
	(3)合同企業説明会（事業構想・食産業）	⑤運営方法	5 4.8%	16 16.5%	11 11.6%	27 14.1%	5 13.2%	8 16.7%	9 27.3%	22 18.5%	2 6.9%	56 12.6%		
	医療機関研究セミナー(看護）	⑥開催時期	10 9.6%	10 10.3%	12 12.6%	22 11.5%	5 13.2%	3 6.3%	9 27.3%	17 14.3%	2 6.9%	51 11.5%		
学校行事	(1)大学祭	①大学の対応	15 14.4%	11 11.3%	24 25.3%	35 18.2%	9 23.7%	7 14.6%	6 18.2%	22 18.5%	2 6.9%	74 16.7%		
	(2)交通安全講習会	②運営方法・時期	15 14.4%	19 19.6%	28 29.5%	47 24.5%	6 15.8%	7 14.6%	8 24.2%	21 17.6%	10 34.5%	93 20.9%	学生部長 （学務課）	・平成21年度から定期の講習会のほかに、出席できなかった学生のためにビデオ等による補講を行うなどして便宜を図っている。 ・今後とも学生の要望に沿った講習会の企画に努める。

学生満足度調査（平成21年度卒業生、修了生対象）対応策

平成22年3月19日調査

※1　数字は、やや不満＋不満の数字（上段は人数、下段は百分率）
※2　　は30%を超えるもの

大項目		小項目	看護学部	事業計画学科	デザイン情報学科	事業構想学部計	ファームビジネス学科	フードビジネス学科	環境システム学科	食産業学部計	大学院	合計	対応責任者	対応内容
大学施設環境	(1)教室環境	①部屋の明るさ	4	2	6	8	3	2	2	7	4	23	事務部長（財務課）	
			3.8%	2.1%	6.3%	4.2%	7.9%	4.2%	6.1%	5.9%	13.8%	5.2%		
		②音	18	7	15	22	1	1	4	6	3	49		
			17.3%	7.2%	15.8%	11.5%	2.6%	2.1%	12.1%	5.0%	10.3%	11.0%		
		③部屋の温度	69	37	58	95	4	11	9	24	13	201		個別の教室の温度管理については、構造的な問題があるので対応の可能性について検討したい。 ・コンピューターラボの冷房については、今年度、設備の増設工事を実施することとしている。 ・冷房の室温の基準は、国、県の指針に従い28度に設定しているが、今後は省エネルギーに配慮しつつ教育環境の改善を図っていきたい。
			66.3%	38.1%	61.1%	49.5%	10.5%	22.9%	27.3%	20.2%	44.8%	45.3%		
		④ゆとり	61	23	45	68	4	9	9	22	6	157		・検討中の施設整備計画の中で対応したい。
			58.7%	23.7%	47.4%	35.4%	10.5%	18.8%	27.3%	18.5%	20.7%	35.4%		
	(2)図書館	⑤専門図書の数	31	29	34	63	12	16	12	40	10	144	総合情報センター長（総務課）	・専門図書数への満足度が70パーセントを割り込んだ学部学科に対して、学生自身が利用したい図書を選定する学生選定を実施。（大和・太白） また、学生リクエストキャンペーンを同時実施し、学生の要望を積極的に受け入れる体制を整える。（太白）
			29.8%	29.9%	35.8%	32.8%	31.6%	33.3%	36.4%	33.6%	34.5%	32.4%		
		⑥利用のしやすさ・検索設備	13	13	21	34	3	6	4	13	5	65		
			12.5%	13.4%	22.1%	17.7%	7.9%	12.5%	12.1%	10.9%	17.2%	14.6%		
		⑦部屋の明るさ	25	10	10	20	1	0	3	4	4	53		
			24.0%	10.3%	10.5%	10.4%	2.6%	0.0%	9.1%	3.4%	13.8%	11.9%		
		⑧音	12	6	5	11	3	1	1	5	2	30		
			11.5%	6.2%	5.3%	5.7%	7.9%	2.1%	3.0%	4.2%	6.9%	6.8%		
		⑨部屋の温度	20	15	17	32	2	2	6	10	2	64		
			19.2%	15.5%	17.9%	16.7%	5.3%	4.2%	18.2%	8.4%	6.9%	14.4%		
	(3)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ設備	⑩設置数	33	10	36	46	2	6	4	12	10	101	総合情報センター長（総務課）	・学生満足度調査の不満についてより詳細な内容を把握し、今後の運営に役立てるために、学内コンピュータ施設に関するアンケート調査を実施する。
			31.7%	10.3%	37.9%	24.0%	5.3%	12.5%	12.1%	10.1%	34.5%	22.7%		
		⑪利用のしやすさ	11	8	22	30	9	4	4	17	9	67		
			10.6%	8.2%	23.2%	15.6%	23.7%	8.3%	12.1%	14.3%	31.0%	15.1%		
大学施設環境	(4)学生ﾗｳﾝｼﾞ	⑫部屋の明るさ	18	3	14	17	0	3	1	4	3	42	事務部長（財務課）	
			17.3%	3.1%	14.7%	8.9%	0.0%	6.3%	3.0%	3.4%	10.3%	9.5%		
		⑬利用のしやすさ	8	6	24	30	5	5	3	13	6	57		
			7.7%	6.2%	25.3%	15.6%	13.2%	10.4%	9.1%	10.9%	20.7%	12.8%		
		⑭ゆとり	16	10	20	30	0	9	1	10	7	63		
			15.4%	10.3%	21.1%	15.6%	0.0%	18.8%	3.0%	8.4%	24.1%	14.2%		
		⑮部屋の温度	55	14	46	60	4	13	2	19	7	141		教室の温度管理と合わせて検討したい。 ・各学生ラウンジは、構造的に開放空間となっており、また南向きではないことから、廊下、階段と同程度の温度となってしまう。これへの対応としては、空調設備による対応は困難と思われるが、何らかの方策を検討することとしたい。
			52.9%	14.4%	48.4%	31.3%	10.5%	27.1%	6.1%	16.0%	24.1%	31.8%		
	(5)駐車場・駐輪場	⑯台数の確保	9	9	29	38	11	14	9	34	6	87	事務部長（学務課）（総務学務課）	通学の利便性については、柔軟に対応していきたい。 ・駐車場については、今年度も申請者全員に許可している。（大和）
			8.7%	9.3%	30.5%	19.8%	28.9%	29.2%	27.3%	28.6%	20.7%	19.6%		
		⑰許可手続	16	29	35	64	10	13	10	33	8	121		・継続の場合の後期駐車票は、前期の駐車票と引き換えに交付するなど、手続きの簡略化を図っている。 ・交通安全講習会の受講を義務付けているが、平成21年度からは、定期の講習会のほかに補講を行うなどして便宜を図っている。 ・今年度から、個人割り当て制から、エリア割り当て制に変更し、柔軟な対応を行っている。（太白）
			15.4%	29.9%	36.8%	33.3%	26.3%	27.1%	30.3%	27.7%	27.6%	27.3%		
		⑱通学の利便性	25	36	32	68	11	17	16	44	8	145		・大学の立地上、公共交通機関の利用についてはバスに頼らざる得ない。バスの利便性については、仙台駅からの直行便が運行されているほか、通学時間帯は便数も確保されている。なお、公共交通機関の管理者等に宮城大学の実情等を伝え利便性向上に努める。（大和） ・スクールバスの運行を含め、抜本的な対策が不可欠である。（太白）
			24.0%	37.1%	33.7%	35.4%	28.9%	35.4%	48.5%	37.0%	27.6%	32.7%		
福利厚生	(1)食堂	①メニュー・味	7	8	26	34	10	28	10	48	6	95	事務部長（財務課）（総務学務課）	・食堂のメニューについては、「カフェテリア方式」で出食しているが、月単位でメニューを入れ替え、さらに、月別企画フェアを開催して飽きのこない食堂としてもらう。 ・価格については、より低価格なメニュー開発に取り組んでいるとのこと。 ・温度については、教室の温度管理と合わせて検討したい。
			6.7%	8.2%	27.4%	17.7%	26.3%	58.3%	30.3%	40.3%	20.7%	21.4%		
		②価格	11	13	21	34	12	15	11	38	3	86		
			10.6%	13.4%	22.1%	17.7%	31.6%	31.3%	33.3%	31.9%	10.3%	19.4%		
		③ゆとり	39	29	51	80	20	25	16	61	9	189		・食事終了後の居座り、荷物放置も多く見られることから、注意文書の掲示等の防止策を検討するほか、検討中の施設整備計画の中で対応したい。
			37.5%	29.9%	53.7%	41.7%	52.6%	52.1%	48.5%	51.3%	31.0%	42.6%		
		④部屋の温度	58	33	50	83	5	12	9	26	9	176		・カフェテリアの暖房対策については、従来から実施してきた防火シャッターの使用に加え、21年度は既設床暖房設備の運転等の対策を実施してきた。今年度は電熱暖房機の設置等の対策を検討している。 ・暖房の室温の基準は、国、県の指針に従い20度に設定しているが、今後は省エネルギーに配慮しつつ教育環境の改善を図っていきたい。
			55.8%	34.0%	52.6%	43.2%	13.2%	25.0%	27.3%	21.8%	31.0%	39.6%		
	(2)売店	⑤品揃え	15	15	23	38	10	21	11	42	6	101	事務部長	・品揃えについては、おにぎり・弁当・飲料・お菓子等の食品分野群について商品入替や新商品導入を実施し始めた。具体的には都度店舗内商品棚にてPOP等で案内し、生協のホームページにもフェアの案内や新商品の紹介を掲載しているとのこと。
			14.4%	15.5%	24.2%	19.8%	26.3%	43.8%	33.3%	35.3%	20.7%	22.7%		
		⑥価格	6	15	14	29	8	11	8	27	3	65		
			5.8%	15.5%	14.7%	15.1%	21.1%	22.9%	24.2%	22.7%	10.3%	14.6%		
		⑦ゆとり	26	16	28	44	9	15	10	34	8	112		・ゆとりについては、品揃えと関係するが、引続き検討する。
			25.0%	16.5%	29.5%	22.9%	23.7%	31.3%	30.3%	28.6%	27.6%	25.2%		
その他	(1)学生会活動	①大学の対応	8	8	15	23	4	4	3	11	0	42		
			7.7%	8.2%	15.8%	12.0%	10.5%	8.3%	9.1%	9.2%	0.0%	9.5%		
	(2)サークル活動	①大学の対応	10	11	17	28	5	8	1	14	0	52		
			9.6%	11.3%	17.9%	14.6%	13.2%	16.7%	3.0%	11.8%	0.0%	11.7%		

平成 22 年 3 月 5 日
施設整備計画策定作業部会まとめ

宮城大学施設整備計画に係るアンケートまとめ（新築・大規模・小規模別）

1. 新築
(ア) 演習室・自習室新設（デ情・事構・看護）
(イ) 学生用個人研究スペース新設（事構）
(ウ) 多目的なオープンスペース・工作室新設（デ情）

2. 大規模改修（概ね 15,000 千円以上）
【大和】
(ア) 空調室外機エンジン部更新（予算 G，46,000 千円）
(イ) 空調監視システム更新（予算 G，120,000 千円）
(ウ) 電話交換機設備更新(予算 G，20,000 千円)
(エ) 大和キャンパス IC カード化（予算 G，130,000 千円／10,000 千円[中央監視装置改修]）
(オ) 講義室・CAD 室ドア扉をガラス窓付のものに取替え（事構）(IC カード化時に一括で行う)
(カ) ロータリー敷石補修（予算 G，15,000 千円／3,500 千円[全面コンクリ]）
(キ) 研究室の壁が薄いので防音壁の設置(事構)
(ク) 池の半島部の整備（園路・休憩場所など）（デ情）

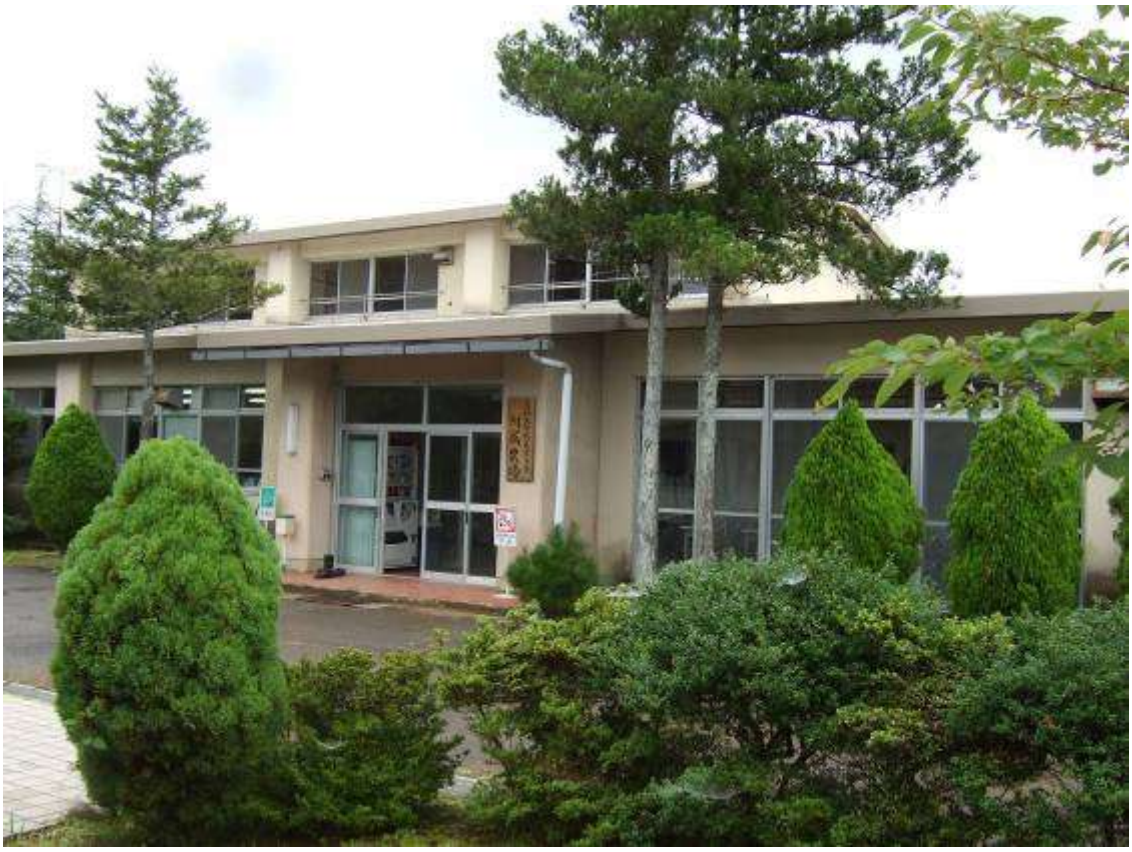
【太白】
(ケ) 屋内運動場修繕(予算 G，70,000 千円)
(コ) 動物実験棟改修（旗立）（予算 G，10,000 千円）
(サ) 研究棟の研究室へのサーキュレーター設置（フード）
(シ) グラウンド北側への防球ネットまたはフェンスの設置（共通）

3. 小規模修繕(通常の修繕費で対応－100 万円未満程度)
【大和】
(ア) ホワイトボード修繕（デ情）（400・401・413・416 講義室修繕準備中，600 千円）
(イ) 講義室内ブラインド修繕（事構，看護）（416 講義室修繕済み）
(ウ) PC 用コンセント修繕(事構)
(エ) 演習室・研究ラウンジの椅子修繕
(オ) 4 階講師室の間仕切り設置（事構・デ情）
(カ) 講義室マイク修繕（事構）
(キ) 大講義室ビデオ修繕（DVD 出力時に白黒になる）（事構）
(ク) 400 講義室プロジェクター修繕（事構）

(ケ) 床タイルシート修繕（事構）
(コ) 講義室への荷物置き場の設置（又はロッカー室の改善）（看護）
(サ) コンピュータラボ１へのプロジェクタースクリーンの設置（事構）（2,300 千円）
(シ) 自動水栓・音姫(擬音装置)の設置及び和式便器を洋式便器（ウォッシュレット付）に変更(看護)
(ス) 本部棟入口付近(4 か所)への防犯カメラ(録画機能付き)の増設(看護)

【太白】
(セ) 各棟入口の泥用と一般用のマットの併設(フード)
(ソ) 駐車場の来客・学生・教員の区分表示の設置(フード)
(タ) 203・204 講義室，実験棟演習室，学生実験室への避難用緩降器の設置(フード)
(チ) 各棟フロアへのリサイクル回収ボックスの設置（フード）
(ツ) 体育館フロア支柱(バドミントン・バレーボール用)基礎工事(共通)
(テ) 体育館バスケットボールコートライン変更（2 面分へ増設）(共通)
(ト) カーテンの交換(共通)
(ナ) 大講義室の照明を教室の前後で点灯・消灯できるように設定変更(フード)
(ニ) 分別収集した廃棄物の保管場所の整備(フード)
(ヌ) 駐車場・通路の排水の改良(フード)
(ネ) 食産業学部の旧国道 286 沿いの大学案内を大学サインにふさわしいものに取替え（環境）

坪沼農場管理棟



避難器具